

科目名：成人歯科学Ⅱ〈修復・歯内〉 (Restorative Dentistry・Endodontology) 履修年次/時期：2年次 前期 授業形態：講義 担当教員：角田 晃（実務経験有）、長谷 徹（実務経験有）		必 1 単位
学修目的	虫歯（う蝕）と歯の神経の病気の治療法の原理と処置の実際が分かり、治療にあたっての歯科衛生士の業務内容がしっかり修得されることを目的とする。そして、その知識が歯科診療補助論、歯科予防処置論、歯科保健指導論を学ぶための大きなバックボーンとなることを期待している。 なお、この科目のDPは DP 2-（2）、CPは 2、3に関連する。科目 No. S2C09H06	
到達目標	1. 硬組織疾患の種類とリスクファクターを説明できる。 2. う蝕の分類と診査法について説明できる。 3. う蝕治療の前準備について理解し、説明できる。 4. 修復法の種類と特徴およびメンテナンスを説明できる。 ① グラスアイオノマーセメントについて説明できる。 ② 接着性コンポジットレジン(CR)修復法について説明できる。 ③ インレー(In)修復法について説明できる。 5. 歯質切削器具を説明できる。 6. 歯髄疾患を分類し、臨床的な特徴、治療法および必要な器具が説明できる。 7. 根尖性歯周炎の診断と治療および必要な器具が説明できる。	
授業概要	歯科保存学は、咬合・咀嚼器官の重要な構成要素である歯の生理学的機能を回復・維持し、かつ疾病の予防を目的としており、治療対象は口腔の二大疾患である虫歯（う蝕）と歯周病です。そのうち、成人歯科Ⅱ（修復・歯内）は虫歯（う蝕→修復治療）と歯の神経の病気（歯髄炎・根尖性歯周炎→歯内治療）がテーマです。講義では、診断と治療に必要な知識、技能を勉強し、歯科医療現場において歯科医とともに歯科医療の一翼を担える歯科衛生士となることを目指しています。	
評価方法	筆記試験（90%）、授業態度・課題への取り組み（10%）の総合評価 試験に対するフィードバックは掲示で行う。	
予習・ 復習時間	【予習】0.5時間 【復習】0.5時間	
教科書	成人歯科学Ⅱ〈修復・歯内〉 【歯科衛生学シリーズ】保存修復学・歯内療法学 医歯薬出版株式会社	
参考書		
オフィス- 連絡先	角田：月一金 16:30～17:00 4号館 2F 角田研究室 tsunoda@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします。 長谷：月・水・金 12:10～12:50 16:00～17:30 4号館 2F 長谷研究室・臨床基礎統合ゼミ準備室 nagatani@kdu.ac.jp	